

進路実現

行ける進路や行きたい進路ではなく
「行かねばならぬ進路」
の実現

⑪ 評価の改革

- ・定期テストなどの出題のあり方の見直し
 - ・あらたな大学入試制度に対応できる学習評価（パフォーマンス課題、ポートフォリオ評価、ルーブリック等）
- ※評価方法の研究については、信州大学の伏木久始教授の助言を受けながら進めていきます。

⑤ 自修習慣の確立

- ・日々の演習（分からないを楽しむ学びの土台づくり）
- ・全員参加の学習合宿（自習を中心とした勉強漬けの体験により「教えられて学ぶ」から「自修」へ）
- ・土曜講座（テストによる自学自習）
- ・自反週間（定期考査前後一週間の集中的勉強期間）

④ 学び方の学び

教科「情報」の時間を活用して、情報の検索から、グループ学習の手法、論文作成までを学びます。
※目標は大学初年次教育の実現です。

③ 習熟度別講座

- ・総合成績でアドバンスト、スタンダードの2講座に分け「もっと伸びたい」「じっくり学びたい」というどちらの要望にも応えます。
- ・中入生と高入生の切磋琢磨

② ICTの活用

電子黒板、書画カメラ、タブレットの導入により学習の効果、効率を飛躍的に高めます。
※活用方法については、諏訪東京理科大などと共同研究を行います。

⑩ 充実の進路指導

- ・平日補習の充実
- ・冷暖房完備の複数の自反室（自習室）
- ・個別入試に向けた徹底した個人指導
- ・きめ細かな小論文・面接指導
- ・「受験は団体戦」を目に見えぬ形で実現します。

⑨ 課題探究

- ・SSH 14年間の成果を活かします。
- ・理系だけでなく、文系の生徒にも門戸を開きます。
- ・科学系クラブとも連携し、学会発表、コンクール入賞など高い成果の達成を目指します。【卓越性の保証】

① 65分授業

+15分の授業時間を活かし、脳に汗して、もう一步深い学びをします。

⑥ キャリア教育

先端技術等産業研修を通じての「ものづくり」先進・集積地SUWAの学習などの、多様な出会いと体験的な学び。

⑦ 研修旅行

グループごとに全てを自分たちで計画し実施する旅行を通じ自主性に磨きをかけます。

⑧ 海外研修

SSHのアラスカ研修に替わる希望参加の海外研修を検討中。
※候補地としては、シンガポール、インドネシアを想定

「強い意志」
「広い視野」
「高い学力」
大きな目標